

シリーズ ■ 中学校武道

授業の充実に向けて

119

つまづきをどう克服したか ⑫

(柔道・効果的で安全な授業を継続する)

練馬区立練馬中学校 校長 熊野 真司

本校は、昭和22年4月に新制中学校として開校した。当初は板橋区立だったが、同年8月に板橋区より練馬区が独立し、練馬区立練馬中学校として歩み始めた。昨年、開校70周年の記念行事を終え、地域に根ざした学校としてその歴史を刻んでいる。周辺は都内としては農地もまだ残され、緑に囲まれた恵まれた環境の中にある。しかし近年、都営地下鉄の駅や幹線道路が完成したため、宅地等が増加し、少しずつ変容してきている。そのなかでも校訓「不惜精進」は、努力を惜しむことなく前進することを表し、今も変わらず受け継がれている。

現在の学級数は通常学級12、特別支援学級2の計14学級で、約450人の生徒が学んでいる。校舎と校庭を挟んで独立した武道場があり、武道授業の時期は、生徒が柔道衣を持って校庭を横切っていく姿が見られる。他の学校と同じように本校の教員も、柔道を専門とする教員ではない。研修会に参加しているものの安全面や効果的な指導法に課題意識を抱えていた。その課題を解決することができた取り組みとして、平成27年度より3年間、本校が行った文部科学省委託事業に係る検証授業の内容を紹介する。

1 生徒の様子

本校の生徒は、2・3世代にわたる者も多く、地元の温かい見守りのおかげで大変落ち着いている。授業や行事に真剣に取り組み部活動にも熱心で、明るく元気に挨拶することを生徒が主体的に行っている。

2 平成26年度調査から

平成26年に東京女子体育大学が中心となり、研究協力者会議による武道指導に関する調査が全国の都道府県・指定都市・市区町村教育委員会と抽出した公立中学校200校を対象に行われた。その調査結果では、約6割の学校が柔道を実施しており、授業時数は平均9時間、その中で1、2年共に実施している学校が約8割、3年まで実施している学校が約5割であった。また指導している教員の約9割は柔道を専門としていない教員で、指導経験等に差があることが分かった。また、教員と生徒による中学2年生を対象としたアンケート調査や訪問校調査による検



3年男子の授業

証結果から、「愛好的態度の育成」「課題解決力の育成」「効果的な技能の習得・向上」の3つが大きな課題として明らかになった。

3 検証授業の実施

「愛好的態度の育成」「課題解決力の育成」「効果的な技能の習得・向上」の3つの課題の背景には、柔道は痛いとか危険であるという

認識が強くあり、どうしても安全への配慮に重点を置き、受け身を中心とした一斉授業が行われる場合が多い。また取り扱う技能も他の武道に比べると多く、柔道を専門としない教員には十分な技術指導をすることが困難な状況が考えられた。

検証授業では、これらの課題解決のため、
○柔道の特性や楽しさに触れさせ、生徒の興味・関心や授業への期待感を高めることで愛好的態度を育てる。
○課題解決の機会や手立てを与えることで課題解決能力を高める。

○技の系統性を生かしたモジュールステップの技能指導で安全で効果的な技能習得を目指す。
を3つの柱とした指導計画・指導案が提示され、第1学年から学年進行で3年間の検証授業が実施された。検証授業では、単元終了時に質問紙調査、毎時間終了後に形

4 検証授業の結果

▽第1学年

1年生では、初めて武道に触れる生徒がほとんどであるので、柔道を学ぶ楽しさを伝えるための工夫が多く取り入れられた。オリエンテーションをはじめとした説明には、適宜興味・関心を引き出すエピソードを入れたり、柔道の動きをゲーム形式にして、全力を出して取り組める場面を取り入れた

▽第2学年

2学年での生徒への質問紙調査の結果では、26年度の全国調査よりは高いものの、形成的授業評価と共に結果として昨年度を下回ることとなった。その要因として考えられるのは、1年次の復習に最

低でも2〜3時間を要したことに加えて、新しく学ぶ技の小内刈りと大腰などの投げ技が難しく感じられ、学習活動に要する時間が不足したこと、1年次で初めて柔道を学習することと比較すると、柔道に対する期待感が薄れ、技能差が広がったことなどがあげられる。また、武道場はあるものの、常時畳を敷いているわけではない。授業の始まりや終わりでの畳の上げ下げに時間を割かなくてはならない事情も関係して、実質の活動時間が減少するという現実もあった。

指導する教員も、「指導内容が多い。1単位時間の中で、1年次や前時の復習も含めて進めているので、新しく教える技は最大2つまで」「安全面を考えると小内刈りや大腰の段階的な練習は指導しやすいが技は難しい。特に小内刈りなど」と答えている。

柔道の特性に触れさせ、考える授業を展開していけば、右肩がりに愛好的態度が上がらずとも、高水準を維持できると考えていた私たちにとって、この結果は計画

のつまずきともいえる問題であった。

▽第3学年

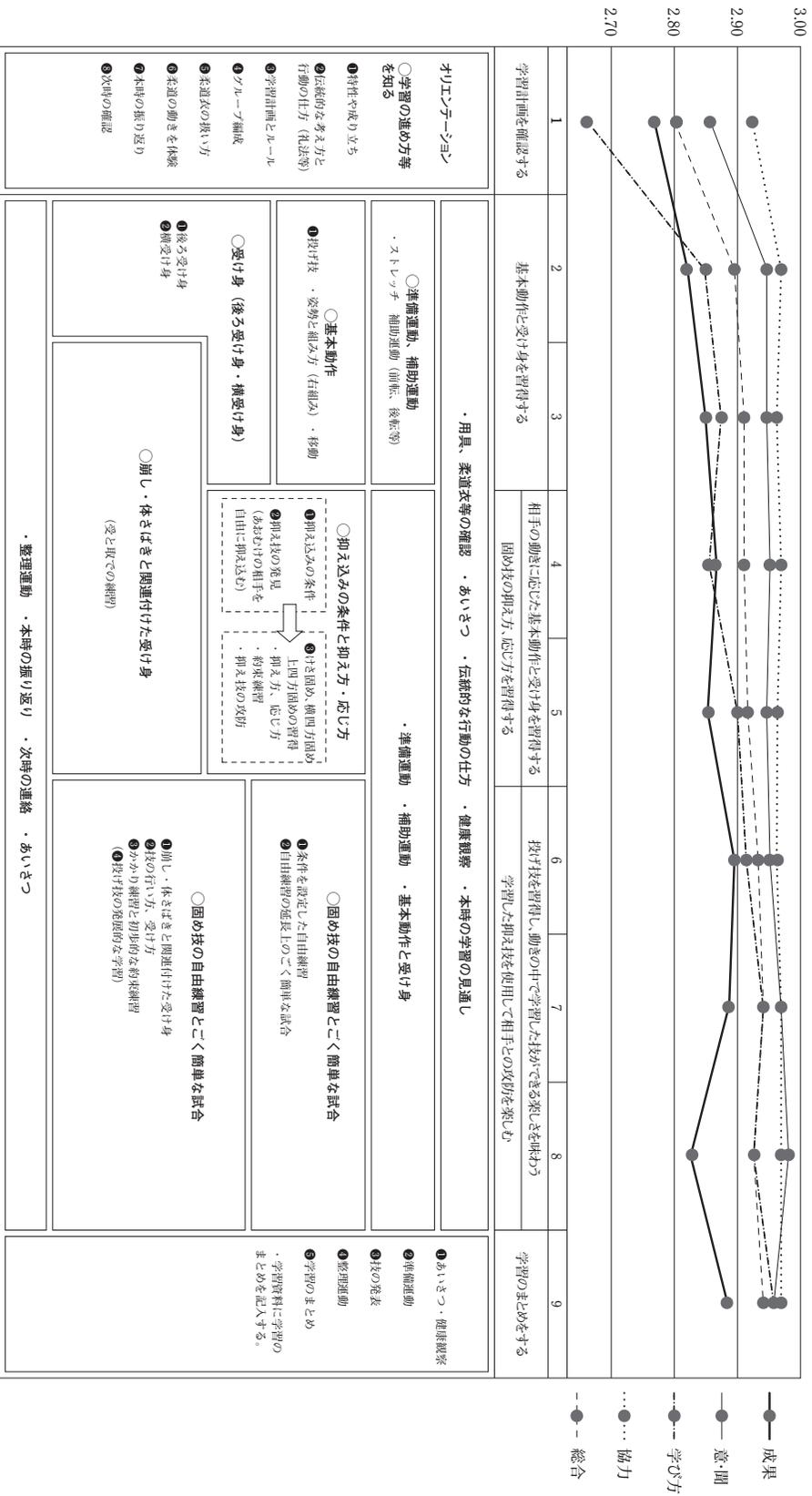
2年次の課題を受け、3年次では新しく学ぶ技を一つに限定して、得意技の習得や自由練習の時間をできる限り多く取り入れる様に工夫し、攻防の楽しさに触れる授業を中核として構成した。投げ技を掛けるタイミングを考え、6〜7人のグループ内で互いに助言をしながら練習をし、試行錯誤しながら得意技を身に付けたり、固め技の自由練習を毎時間行い、審判、時計係、コーチ役と役割分担し、どのようにすれば上手く抑えられるのか逃れられるのか、さらには返し方や守り方についても話し合わせたりしながら授業を進めた。

結果として、3年生での調査結果では愛好的態度がV字回復した。また課題解決力では3年間で最も高い数値を示し、技能の習得・向上においても技ができるだけでなく、攻防を楽しむことができるようになった。

0	オリエンテーション ○学習の進め方を知る	1	学習計画を確認する	2	基本動作と受け身、既習技の復習をする	3	新しい技を習得し、動きの中で技ができる楽しさを味わう	4	相手の動きに応じた基本動作と受け身を習得する 固め技の動き方、戻り方を習得する	5	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	6	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	7	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	8	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	9	学習のまとめをする				
1	特性や成立立ち ・伝説的な考え方 ・柔道の歴史	2	伝説的な考え方と行動の仕方(礼法等)	3	準備運動・補助運動 ・ストレッチ・補助運動(前後、後等)	4	準備運動・補助運動 ・基本動作	5	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	6	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	7	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	10	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	11	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ
2	グループ構成	3	学習計画とルール	4	基本動作	5	準備運動・補助運動 ・基本動作	6	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	7	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	10	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	11	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ		
3	柔道の歴史	4	柔道の歴史	5	準備運動・補助運動 ・基本動作	6	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	7	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	10	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	11	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ				
4	柔道の歴史	5	柔道の歴史	6	準備運動・補助運動 ・基本動作	7	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	10	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	11	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ						
5	柔道の歴史	6	柔道の歴史	7	準備運動・補助運動 ・基本動作	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	10	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	11	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ								
6	柔道の歴史	7	柔道の歴史	8	準備運動・補助運動 ・基本動作	9	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	10	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	11	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ										
7	柔道の歴史	8	柔道の歴史	9	準備運動・補助運動 ・基本動作	10	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	11	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	12	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身												
8	柔道の歴史	9	柔道の歴史	10	準備運動・補助運動 ・基本動作	11	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	12	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身														
9	柔道の歴史	10	柔道の歴史	11	準備運動・補助運動 ・基本動作	12	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身																
10	柔道の歴史	11	柔道の歴史	12	準備運動・補助運動 ・基本動作																		
11	柔道の歴史	12	柔道の歴史																				
12	柔道の歴史																						

検証授業に用いた【中学校第1学年】(9時間扱い)の単元計画

0	オリエンテーション 学習の進め方を知る	1	学習計画を確認する	2	基本動作と受け身、既習技の復習をする	3	新しい技を習得し、動きの中で技ができる楽しさを味わう	4	相手の動きに応じた基本動作と受け身を習得する 固め技の動き方、戻り方を習得する	5	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	6	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	7	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	8	投げ技を習得し、動きの中で学習した技ができる楽しさを味わう 学習した動きと受け身を習得して相手の攻防を楽しま	9	学習のまとめをする
1	特性や成立立ち ・伝説的な考え方 ・柔道の歴史	2	伝説的な考え方と行動の仕方(礼法等)	3	準備運動・補助運動 ・ストレッチ・補助運動(前後、後等)	4	準備運動・補助運動 ・基本動作	5	準備運動・補助運動 ・基本動作	6	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	7	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	10	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ
2	グループ構成	3	学習計画とルール	4	基本動作	5	準備運動・補助運動 ・基本動作	6	準備運動・補助運動 ・基本動作	7	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	10	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ		
3	柔道の歴史	4	柔道の歴史	5	準備運動・補助運動 ・基本動作	6	準備運動・補助運動 ・基本動作	7	準備運動・補助運動 ・基本動作	8	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	9	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	10	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	11	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ		
4	柔道の歴史	5	柔道の歴史	6	準備運動・補助運動 ・基本動作	7	準備運動・補助運動 ・基本動作	8	準備運動・補助運動 ・基本動作	9	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	10	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	11	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ		
5	柔道の歴史	6	柔道の歴史	7	準備運動・補助運動 ・基本動作	8	準備運動・補助運動 ・基本動作	9	準備運動・補助運動 ・基本動作	10	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	11	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	12	準備運動 ・技の発表 ・学習のまとめ				
6	柔道の歴史	7	柔道の歴史	8	準備運動・補助運動 ・基本動作	9	準備運動・補助運動 ・基本動作	10	準備運動・補助運動 ・基本動作	11	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身	12	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身						
7	柔道の歴史	8	柔道の歴史	9	準備運動・補助運動 ・基本動作	10	準備運動・補助運動 ・基本動作	11	準備運動・補助運動 ・基本動作	12	準備運動・補助運動 ・基本動作と受け身								
8	柔道の歴史	9	柔道の歴史	10	準備運動・補助運動 ・基本動作	11	準備運動・補助運動 ・基本動作	12	準備運動・補助運動 ・基本動作										
9	柔道の歴史	10	柔道の歴史	11	準備運動・補助運動 ・基本動作	12	準備運動・補助運動 ・基本動作												
10	柔道の歴史	11	柔道の歴史	12	準備運動・補助運動 ・基本動作														
11	柔道の歴史	12	柔道の歴史																
12	柔道の歴史																		



形成的授業評価の推移と授業者記録 柔道 東京都N中学校 (女子)

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ねらい	学習計画を確認する	基本動作と受け身を習得する	基本動作と受け身、既習技の復習をする	新しい受け技を習得する	学習した初め技を使用して相手との攻防を楽しむ	発展的な初め技練習や自由練習で相手との攻防を楽しむ	学習のまとめをする			
内容	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 前年での復習 <ul style="list-style-type: none"> ・特性や振り立ち ・伝統的な考え方 ・高まる体力 2 柔道衣の扱い方 3 武道を学習する意義 4 体力を高める方法 5 学習計画とルール <p>○準備運動・補助運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ ・補助運動 (前転、後転等) <p>○基本動作と受け身※ (復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と組み方 ・連連動作 ・受け身 後ろ受け身・横受け身 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 基本動作の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習 	<p>○受け技の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 崩し・体さばきと関連付けた受け身の復習 2 既習技の復習 3 既習技の復習 <p>○新しい技の習得 (大外刈りまたは小内刈り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※第2学年で小内刈りを学習した場合は大外刈りまたはその逆 1 崩し・体さばきと受け身 2 かがみ練習 3 約束練習
学習の進め方	学習計画を確認する	基本動作と受け身を習得する	基本動作と受け身、既習技の復習をする	新しい受け技を習得する	学習した初め技を使用して相手との攻防を楽しむ	発展的な初め技練習や自由練習で相手との攻防を楽しむ	学習のまとめをする			
評価										

指導と評価の計画【中学校第3学年】(9時間扱い)

▽「効果的な技能の習得・向上」について
3年間を通して、単元計画の中で基本的な動作と対人的技能を関連付けて扱ったことや技を精選し、その中から得意技を身に付ける練習過程を組み込んだことで、質問紙調査でも高い値を示した。自由意見でも、「技ができるようになって楽しかった」「3年前は



第3学年の授業

「攻防」の流れに関連付けた体系的な技の指導計画を作成する。初歩のゲーム的な動きから得意技を使った攻防までの流れをつくる。
・「攻防」を指導計画の核にし、技をできる限り精選し、習熟させて得意技をつくらせる。
・「攻防」のゲーム的な動きから得意技を使った攻防までの流れをつくる。
・「攻防」の流れに関連付けた体系的な技の指導計画を作成する。

紙面の都合上学習指導案は載せられないが、単元計画から全体の流れを読み取り、参考にしていただければ幸いです。
本校では、これからも柔道授業の研究を進め、その内容を少しでも多くの学校に広められるよう努力をしていき、武道授業の充実に努めていきたい。

回復した。

▽「課題解決力の育成」について
3年間を通して課題解決型の授業を取り入れることで、年次を追う毎に高まりを見せ、3年次で最も高くなった。今回の単元計画では、各学年のねらいに応じて「抑え技の発見」「既習技の崩しや体さばきの工夫」「得意技の発見」などのテーマを設定し、グループ活動を通じて相互の課題解決を目指した。特に3年次では、自由練習等の攻防を通して個の課題意識が高まり、得意技を身に付けるための課題解決の過程が「思考・判断」を高めた。

何もできなかったのに、今では上手にできるようになってよかった」などの感想が多く見られた。
6
今後の課題とつまずきを克服するために
3年間を通して共通するのは時間不足である。担当した教員は、計画通りに授業を進められないこともあり、ゆとりある授業時間の確保が大きな課題である。また、

新学習指導要領の実施に向けた単元計画の工夫やカリキュラム・マネジメントも求められる。
課題解決のためには、3年間継続して柔道の授業を展開することである。2年次、3年次では、9時間確保できたとしても2〜3時間は既習した技の復習にかかってしまうため、学年で取り組みは実質6時間程度になってしまう。3年間継続することで柔道の特性に十分に触れ、楽しさを味わうことができる。しかし、3年間の継続が難しい場合は、1、2年次の計画をまとめた15時間程度の単元計画の授業をどちらかの学年で行うなどの工夫が必要であり、できればそれを3年次につなげたい。

「攻防」の流れに関連付けた課題解決型の学習を取り入れる。以上のことが重要であると考えている。
7
まとめ
専門外の教員が、柔道授業を行うにあたっては、安全や技能指導がとまづきの要因になっていると考えられる。今回の検証授業では、基本となる指導計画と学習指導案等を示すことによって、それらのとまづきを克服し、柔道の特性に十分に触れさせることができた。

【柔道の時間が好きだ】

		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない
3年次 (H29年度)	288	36.1%	43.4%	17.4%	3.1%
		79.5%		20.5%	
2年次 (H28年度)	297	29.0%	41.8%	23.6%	5.7%
		70.7%		29.3%	
1年次 (H27年度)	304	34.2%	49.0%	15.5%	1.3%
		83.2%		16.8%	
2年次 (H26年度・全国)	5,550	22.5%	38.1%	29.0%	10.4%
		60.6%		39.4%	

質問紙調査（愛好的態度）攻防を中核にした授業でV字回復

【課題を見つけ解決しようとしている】

		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない
3年次 (H29年度)	289	58.5%	37.4%	3.8%	0.3%
		95.8%		4.2%	
2年次 (H28年度)	298	43.3%	45.6%	9.4%	1.7%
		88.9%		11.1%	
1年次 (H27年度)	303	42.2%	45.2%	11.6%	1.0%
		87.5%		12.5%	
2年次 (H26年度・全国)	5,534	30.7%	46.6%	18.8%	3.9%
		77.3%		22.7%	

質問紙調査（課題解決力）課題解決力は、3年で一番高くなっている

【抑え技の自由練習や簡易な試合で抑えたり返したりの攻防を展開できる】

		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない
3年次 (H29年度)	284	53.9%	33.1%	13.0%	0.0%
		87.0%		13.0%	
2年次 (H28年度)	291	40.2%	44.7%	13.1%	2.1%
		84.9%		15.1%	
1年次 (H27年度)	283	33.2%	49.8%	15.2%	1.8%
		83.0%		17.0%	
2年次 (H26年度・全国)	4,243	25.2%	39.9%	27.0%	7.9%
		65.1%		34.9%	

質問紙調査（効果的な技能の習得・向上）年次を追うごとに向上している

5
検証授業を終えて
3年間継続して授業を行ったことで、生徒は柔道に対する見方や考え方が大きく変化したことを感じている。関心をもって柔道競技をテレビで観戦するようになったり、礼法をはじめとした伝統的な行動の仕方を大事にしたりする姿が見られるようになったことは、大きな成果であると考えられる。
検証授業の各課題のまとめは次の通りである。

▽「愛好的態度の育成」について
準備運動や基本動作、受け身の練習にゲーム的要素を取り入れ、1年次より抑え技の自由練習を多く取り入れるなど攻防の機会を多くしたこと、高い水準を維持した。また、3年生では、得意技を身に付けさせることで自由練習や簡易な試合を行えるようになり、攻防を楽しむことができた。2年次で低下した値が、3年次にV字